

アプリケーションカタログ セメント及び高炉スラグ中の酸化アルミニウムの定量

関連業界	:	-
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	光度滴定法/ キレート滴定
関連規格	:	-

1. 概要

試料中の酸化アルミニウムの定量を光度滴定法で試みた。試料中には鉄やチタンなどが含まれており、これらを除去することで定量が可能となった。

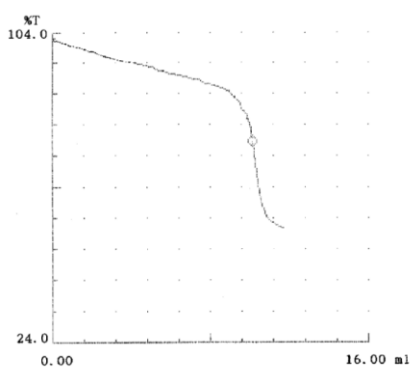
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: PTA)
電極	:	光度滴定用プリアンプリファイア 光度センサ ($\lambda=530\text{nm}$)

3. 試薬

滴定液	:	0.01mol/L-亜鉛溶液
添加試薬	:	0.01mol/L-EDTA、酢酸ナトリウム溶液、スルホサリチル酸、酢酸アンモニウム溶液
溶媒	:	純水
指示薬	:	キシレノールオレンジ

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	titer (mL)	Conc. (%)
1	25	10.1944	0.0496
2	25	9.9810	0.0507
3	25	10.1751	0.0498
平均			0.0500
標準偏差			0.0006
RSD (%)			1.21

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>